

神戸市立森林植物園

「森林もみじ散策」幻想的に

市街地よりも一足早く秋が訪れる神戸市立森林植物園では、森林もみじ散策イベントを28日から12月3日まで開催する。ハナノキやイロハモミジ、ハウチワカエデなど紅葉する樹木が38種約3千本もあり、日々移り変わる景色や長谷池の水面に映る紅葉が楽しめる。

11月3日からは一部区域で、紅葉のライトアップが土・日・祝日のみ実施される。普段の森林植物園と一味違う、幻想的な雰囲気に。ライトアップ中は開園時間を午後7時半まで延長する。

また青葉トンネル内では「山の

紅葉」と題し、カラーLEDによるライトアップで、赤や黄色に染まった山のもみじを演出する(午後5時まで。12月以降も別バージョンで継続)。

期間中は無休。同園☎078・591・0253



長谷池の水面に映る紅葉

「神戸登山サポート店」制度

まちぐるみで登山客を歓迎

より多くの人に神戸登山の魅力を感じてもらおうと、神戸市が本年度から進めている「神戸登山プロジェクト」。この一環で、8月下旬から「神戸登山サポート店」制度がスタートした。

神戸登山の魅力の一つが、まちと山が近いこと。「大きな荷物を持ってお店に入るのが引ける」。そんな人でも「神戸登山サ



神戸登山サポート店の一つ「ゲストハウス萬家」=神戸市灘区城内通4

ポート店」なら大丈夫、という。飲食店や登山用品店、銭湯など、さまざまな店が登山客を歓迎する。店頭緑のステッカーが目印だ。

地元の登山ルートに関する情報提供や、登山者限定の割引など、店ごとの個性豊かなおもてなしが楽しめる。店舗利用の際は、登山で出たごみは持ち帰るなど、マナーを守ることが欠かせない。

ホームページで店舗を紹介。詳しくは「神戸登山サポート店(<https://kobe-rokko.jp/supportshop/>)」で検索する。1日現在で20店の協力があり、今後も順次追加する。

またホームページでは、公共トイレも検索可能で、活用を呼びかけている。

六甲高山植物園

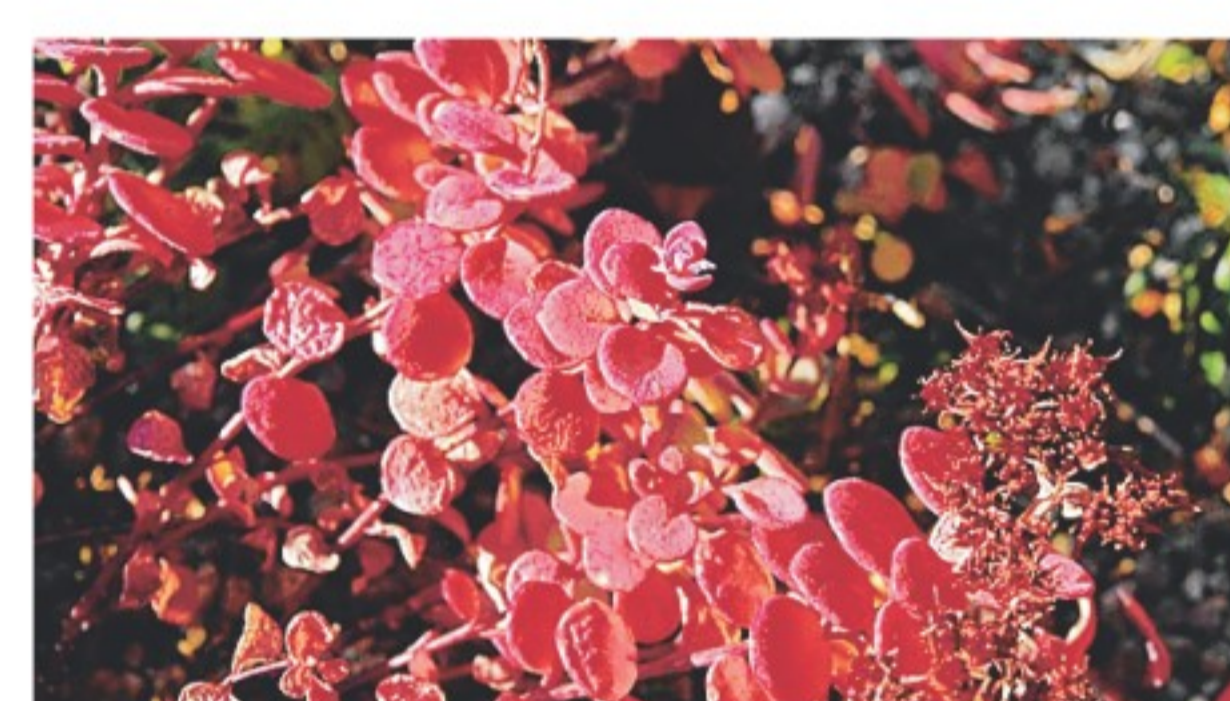
多肉植物「ミセバヤ」も紅葉

「紅葉」と聞いてどんな植物を思い浮かべますか。真っ赤な手のひらのようなモミジ?。それとも、黄色い扇形のイチヨウの葉でしょうか。

高山植物の中にも落葉性は多く、秋には鮮やかな紅葉が見られる。葉を色づかせるのに作用する「アントシアニン」という物質は、紫外線から植物体を守ることにも使われる。

高山は平地に比べて太陽に近く、紫外線も強いので、このアントシアニンを多く保有する植物もある。

いろいろな高山植物が紅葉するが、六甲高山植物園のお勧めは「ミ



赤く色づいたヒダカミセバヤ

セバヤ」の仲間の紅葉。ミセバヤはぷっくりした葉を持つ多肉植物で、名前の由来は「見せないなあ」という意味の古語から来ている。秋の柔らかな西日に照らされたミセバヤの紅葉は特別。来園時は頭上だけでなく、足元の紅葉も楽しめる。

同園の紅葉の見頃は例年10月中旬～11月中旬ごろ。同園☎078・891・1247



六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。(毎月第3日曜日に掲載します)

マップ片手に「山の茶屋」巡り



「紅葉の茶屋」(神戸市中央区)の外観。名物はすき焼き



ロックガーデンの登山口にある「滝の茶屋」(芦屋市)

まちからすぐの真山で、日常的に多くの人に親しまれている六甲山。毎日登山発祥の山でもあり、独特の「登山文化」が根付いている。あちこちに点在する「山の茶屋」がその一つで、六甲山に上るには欠かせない存在だ。毎日登山の署名所となっている茶屋も多く、平日でも多くの人でにぎわっている。

そんな茶屋を紹介するガイドマップが発行された。六甲山の主要なハイキングコースと、現在営業している茶屋の位置を掲載した地図、各茶屋の紹介、茶屋巡りのモデルコースで構成されている。これまで、登山雑誌で茶屋の紹介記事が掲載されたことはある

が、茶屋にフォーカスして、マップとして発行されたのは、筆者が知る限り初めてのこと。

制作したのは兵庫県神戸市民センターで、担当者は「六甲山には個性豊かな茶屋がたくさんあります。後継者問題などもあり、歴史ある茶屋が減ってきているのが現状」とした上で「六甲山の茶屋文化を途絶えさせないこと、山の活性化にもつながれば、という思いで、ガイドマップを作りました」と話す。

筆者も、六甲山を歩く時には、茶屋に立ち寄るのが楽しみの一つ。本欄でも不定期に茶屋を紹介する記事を掲載してきた。山の上とは思えないレベルのおいしいメニューが味わえる店も多く、輪投げや卓球ができた、詩吟や書道などの同好会の場になっていたりする所もある。休憩や飲食物を提供する場というだけでなく、人々が集う憩いの空間であり、交流の拠点ともなっているのが、六甲山の茶屋の大きな特徴だ。

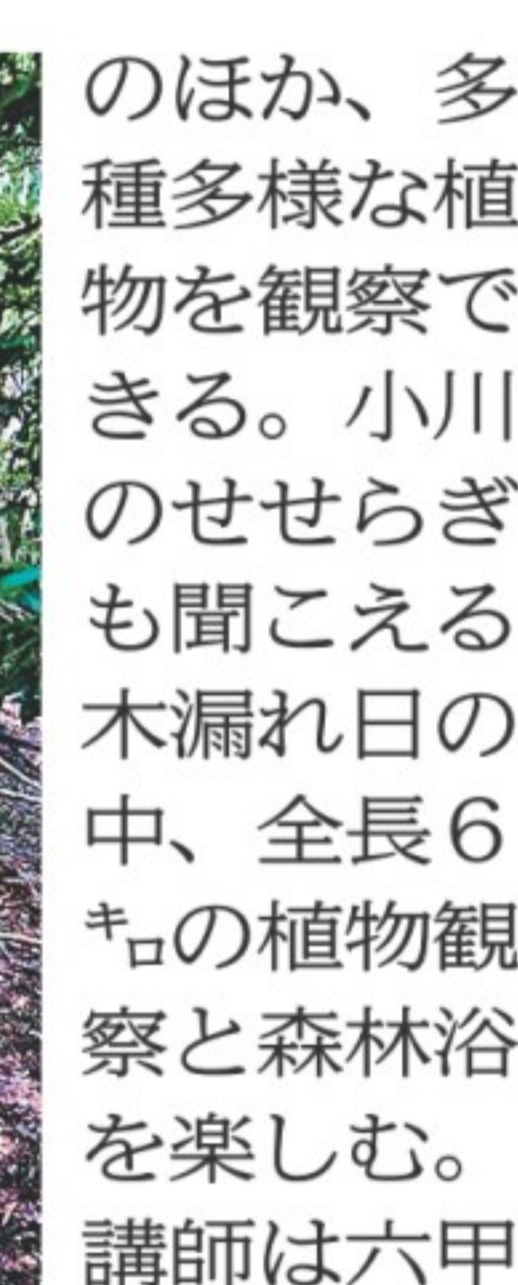
店舗情報やモデルコース紹介

ガイドマップは、兵庫県立六甲山ビジターセンター、JR新神戸駅構内の「トレイルステーション神戸」、JR三ノ宮駅南「神戸市総合インフォメーションセンター」などに置かれている。県民センターには「マップを見た人が1人でも多く茶屋を訪れ、六甲山を楽しんでもらえればうれしい。ぜひお気に入りのマイ茶屋を見つけてほしい」とコメントする。

絶対のハイキング適期が到来する。このマップを片手に、ぜひ茶屋巡りに出かけてほしい。部数に限りがあり、入手希望の方は早めめに。なお、県立六甲山ビジターセンターのホームページでも公開している。(<https://rokko-san-daigaku.jp/>)

ガイドマップの問い合わせ先は、兵庫県神戸市民センター県民交流室☎078・647・9095

◆「摩耶山リュックサックマーケット」21日11～16時、摩耶山掬星台(摩耶ロープウェイ「星の駅」すぐ)。



のほか、多種多様な植物を観察できる。小川のせせらぎも聞こえる木漏れ日の中、全長6kmの植物観察と森林浴を楽しむ。

講師は六甲山自然案内人の会のメンバー。弁当、飲み物、雨具など持参。参加費300円。予約不要。雨天中止。六甲山自然案内人の会☎080・5363・2620

◆「こうべ森の文化祭2023」29日10～15時、再度公園「森の遊び場」周辺(JR「三ノ宮」駅から市バス「再度公園」下車)。六甲山をフィールドに活動する約20団体が



日頃の活動を披露する。森の手入れ、自然観察、工作などが楽しめる=写真。一部有料。神戸市建設局公園部森林整備事務所☎078・371・5937

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページ<http://653daigaku.com/>

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページ<http://653daigaku.com/>

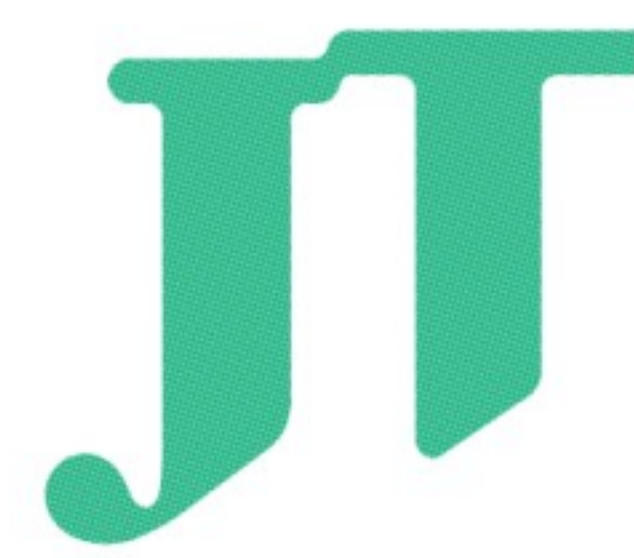


催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページ<http://653daigaku.com/>



わたしたちは 六甲山大学 の活動を応援しています

協賛企業



想いをかたちに 未来へつなぐ



(順不同)